

一学期を振り返って

1年代表 佐々木

中学校の入学式は、日本中が新型コロナウイルス感染症の猛威に揺れる中、迎えました。色々な意味で、緊張していたことを今でもはっきりと覚えています。小学校とは違う学校生活や友達、勉強面などの不安があり、うまくやっていけるかどうか心配でした。同時に、盛り上がる行事がたくさんある中学校生活への期待もありました。臨時休校中は、勉強のおくれなどの不安はありましたが、早く新しいクラスメイトに会いたいという気持ちが、大きくなっていました。

そして迎えた6月1日。学校が開始されましたが、分散投稿のため半分の人数しかいませんでした。こんなことは初めてだったため、なんだか不思議な感じがしました。6月15日、今でも忘れません。やっとクラス全員の顔を見ることができました。僕はクラスのみんなの名前を憶えてすぐに友達になり、今でも楽しく毎日を過ごしています。しかし、楽しみにしていた20キロハイクもなくなり、体育祭や音楽会は中止。せめてもの救いは、形を変えての実施になったことです。しかし、中止になっていない行事もあるので、これからある行事一つ一つを大切に思い出に残るよう、全力で取り組んでいきたいです。

僕は今年、初めて学年委員、評議員となりました。小学校のころに思い描いていた学級委員は大変そうだし、自分には務まらないと思っていました。しかし、学年委員、評議員になって、係の仕事を忘れていた人や、授業中にザワつく教室、友達の言動など、今まで気にしていなかったことを気にするようになりました。これは一学期の成長だと思います。しかし、課題もあります。なかなか周りを見ることができなかつたり、自分にとって楽しいことを優先してしまうことがあります。まだまだ、直すところがたくさんあるので、二学期はそこに気を付けたいです。

学習面では、課題確認テスト・期末テストがあり、小学校との違いを感じました。夜遅くまで勉強したり、移動中の車で勉強したり、いい点数を取るために全力で勉強しました。しかし、納得に行く点は取れませんでした。勉強不足だった所や、時間が足りなくて解けなかったところ、簡単なミスをしてしまった所などがありました。中学校のテストは範囲も広いし、難しいので計画的に勉強し、次こそは自分が満足できる点を取れるようにしたいです。

僕は、このような状況の中でも学校で楽しく過ごすことができました。成長できたこと、これから鍛えていくことを実感することができたのは学校があったからこそです。改めて、学校が好きだと再確認できた1学期でした。2学期は「楽しい」だけでなく、中学生らしい、メリハリのある学校生活を送れるようにしたいです。